

令和 8 年度 施政方針

令和 8 年度に向けた村政運営の基本方針

世界各地における紛争など情勢の不安定化や物価高が続き、村内経済にも影響が及ぶ中、令和 8 年度の予算編成は、住民生活の安定と更なる発展のため、「第 2 次木祖村まち・ひと・しごと創生総合戦略」と住民の困りごとへの対応を中心とした政策推進に重点を置いた予算を編成しました。共感・協働・共創の「3 つのともに」を意識しながら、村政は常に住民とともにあることを基本とし、「未来に誇れる源流の里木祖村」をつくる為の主要な施策、所信等を申し上げます。

国の予算等について

日本経済は、原材料等の価格高騰や慢性的な円安に見舞われ、食料品をはじめとする物価高騰は収まる気配がなく、国民生活や経済への影響は非常に大きなものがあります。

このような中、政府の令和 8 年度の当初予算案総額は、122 兆 3,092 億円と前年と比較して約 7 兆円の増加と過去最大の予算規模となりました。ポイントとしては、経済・物価動向に配慮しつつ、防衛力の抜本的強化や子ども・子育て支援の加速化、教育の無償化（高校授業料・小学校給食費）の実現など重要施策を着実に推進するとともに、地域未来基金（仮称）の創設など地方への配慮も感じさせつつ「強い経済」を実現するための予算となっています。

予算概要としては、高齢化の進行などによる社会保障関係費の増加は続いているものの、国土強靱化をはじめとする公共事業関係費は前年以上の規模が確保されています。

また、地方財政計画の規模は、地方団体が、住民ニーズに的確に応えつつ、様々な行政課題に対応し、行政サービスを安定的に提供できるよう、102 兆 4 千億円円と前年と比較して 5 兆 4 千億円の増となっています。

加えて、地方交付税についても、物価対策等に大きな財政出動がされる中、20 兆 2 千億円と前年と比較して 1 兆 2 千億円の増となっており、地方重視の視点は確保されていると感じているところです。

しかしながら、依然として地方の財源不足は解消されていないことから、引き続き持続可能な地方財政制度の確立を求めてまいります。

県の予算について

長野県の令和8年度の当初予算案は、人口減少など時代の大転換期を迎える中、対話と共創に努め、県民起点・現場重視で、確かな暮らしを守り、豊かな社会を創るため、「しあわせ信州創造プラン 3.0」に基づく取組を着実に推進するための予算編成となっています。

生産性向上・人材確保等を通じた産業競争力の強化、賃上げ促進、福祉的支援の充実等による家計可処分所得の向上、子どもや子育てを支える環境の更なる充実、公共交通の維持・発展と公共ライドシェア等を活用した移動利便性の向上、新たなゼロカーボン戦略の具体化による脱炭素社会の実現などに取り組むとされており、「社会の基本設計をアップデートする」をテーマに一般会計予算額はおよそ1兆659億円で、対前年比5.3%増の大型予算となっています。

源流の里木祖村の予算について

令和8年度の本村の当初予算案は、「第2次木祖村まち、ひと、しごと創生総合戦略」の着実な推進と新たな行政課題への対応の観点から編成しました。

世界情勢の不安定化や物価高に見舞われ、住民生活に大きな影響が及ぶ中、様々な視点から住民への支援を継続しつつ、更なる安全・安心の確保や子育て環境の充実などに積極的に取り組むべき予算といたしました。

本村の一般会計の歳入歳出の合計額は、31億8千6百万円余となり、対前年で7千2百万円余、率にして2.2%の減となりました。

人事院勧告による人件費約5千万円の増や建設資材の高騰など増加要因が多くある中、また、行政課題が山積する中で、「あれもこれも」ではなく、「あれかこれか」の観点から、緊縮型でありながら、社会インフラの老朽化対策、子育て支援などを中心に住民が未来に希望を持てるよう予算編成を行ったところです。

取り崩し後の財政調整基金も10億円を上回っており、村債の発行も前年度比約1億円減と抑制していることから、健全財政の確立にも配慮した予算編成ができたと考えております。

今後も住民の皆様の声を十分に聞き、国や県の動きを的確に把握した上で、現下の財政状況を踏まえつつ、住民福祉の向上に向けて、施策の推進を図ってまいります。

〔基本姿勢〕

- ① 「第2次木祖村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4本の基本分野について更なる政策の推進を図ります。
- ② 近年頻繁に発生する災害に備え、毎回災害に見舞われる箇所に対する抜本的な対策を講じ、住民の皆様が安全安心で暮らせる村づくりを進めます。
- ③ 物価高により影響を受けている住民や事業者に対し、国や県の事業と合わせ、きめ細かな対策を進めます。
- ④ 女性や若者をはじめ、住民の声をよく聴き、その意見を十分に反映させた上で村政運営を行います。
- ⑤ 教育環境の充実や子育て支援に取り組むとともに健康づくり、生きがいつくり等、お年寄りや子ども、障がいをお持ちの方にしっかりと寄り添います。
- ⑥ 農林業や畜産業、木工業等地域産業の振興を図ります。
- ⑦ 移住促進など人口減少対策にしっかりと取り組み、地域が元気で輝く村づくりを推進します。
- ⑧ 木祖村地球温暖化対策実行計画のもと、住民の皆様との協働により脱炭素社会の構築を目指します。
- ⑨ 将来に負担を残さない様、財政健全化を推し進めながら国や県による補助制度を積極的に取り入れ活用します。
- ⑩ 自治会要望については、現地を十分に把握し、必要に応じ適切な対応を進めます。

「仕事の魅力創造・発信」

《木祖村にあった、魅力ある仕事の創造と魅力の発信》

木祖村にはお六櫛や画材をはじめとした木工業や畜産、農林業等の産業が営まれています。

また、やぶはら高原スキー場、こだまの森、味噌川ダム、鳥居峠、藪原宿などの多彩な観光資源もあります。

これらの資源を活かし、これまで培ってきた産業や仕事の魅力を再発見するとともに、若い世代や村外の方が魅力を感じるものへと変革していく必要があります。そのために以下の施策に取り組みます。

【継続する主な施策】

農業振興においては、とうもろこしのブランド化に取り組むほか緩衝帯整備事業については予算規模を拡充するとともに捕獲従事者の確保を目的とした支援とサル「追い払い隊」事業を継続します。

また、大型檻によるサルの捕獲の推進に引き続き取り組みます。

林業振興に関しては、公有林整備を推進するとともに森林経営管理制度のもと大平地区などの私有林整備を積極的に進めます。

産業振興に関しては、地域おこし協力隊の活動を引き続き支援し、お六櫛の担い手育成や木工産業の振興に取り組むほか、下流域の期待に応える生産体制を構築するとともに、創業支援や地域産業活性化支援などを継続し、地域経済の発展につなげます。

【新たに取り組む施策】

- やぶはら高原スキー場丸山リフトのワイヤー交換に係る補助を実施します。また、人工降雪に必要な水を確保するための設備を整備します。
(補正予算対応)
- 有害鳥獣の捕獲頭数増加に資するようニホンザルの捕獲報奨金を1頭当たり2万円から3万円に、ツキノワグマについても1万円から3万円に増額します。
- 西山地区における有害鳥獣対策のため、未設置個所に防除柵を設置します。
- 有害鳥獣や遊休農地解消対策のため、集落支援員を採用します。
- わら原地区において水田再開発事業を開始します。
- 新たに木工振興を目的とした地域おこし協力隊員を採用するとともに、お六櫛職人育成のためのインターンシップ事業を実施します。
- 道の駅の経営安定化に資するため、指定管理料を増額します。
- 中山道を中心とする案内サインの整備・更新を進めます。
- 村民生活への支援のため、プレミアム商品券のプレミアム率を倍増します。
- ポータルサイトの拡充や新規返礼品の追加により、ふるさと納税制度の活性化を図ります。

「交流・移住の拡大」

≪村外からの交流人口増大と移住・定住の拡大を図ります≫

村の人口減少が続く中、これを少しでも抑制するためには、移住施策を積極的に推進する必要があります。

また、受け入れの素地となる空き家の活用などを進め、より多くの方に定住していただくことが望まれます。

さらに、移住につながる人を増やすため、交流体験を拡充し、関係人口の増加も図っていく必要があります。

そのために以下の施策に取り組みます。

【継続する主な施策】

移住者の住環境の整備のため、空き家バンクの充実を図るほか、木造住宅新築補助金に移住者及び子育て世帯への加算を新設するなど拡充を図ります。

また、空き家の利活用と危険空き家の除却について制度の周知を進めます。

観光振興策としては、縁結び神社参道の整備を進めるとともに、はくさいマラソン大会や日曜画家展などのイベントを開催し、関係人口の増加と観光地の魅力向上に取り組みます。

【新たに取り組む施策】

- 藪原駅前に観光拠点を建設します。
- 藪原宿内の「旧米屋旅館」の活用のあり方について、所有者との調整や活用可能性調査など具体的な取組を進めます。
- お六櫓の技法が、国の無形民俗文化財（記録作成等の処置を講ずべき無形の民俗文化財）に登録されたことを記念し、郷土館において「木曾のお六櫓展」を開催するとともに、地元劇団「ひのき」による櫓にまつわる演目を上演します。
- 鳥居峠遊歩道の崩落箇所等の修繕を実施します。
- ご当地ボードゲームを活用し、来村者及び下流域に向けてキャラバン隊を結成し木祖村の魅力を発信します。
- 全国日曜画家中部日本展の第40回記念企画を実施します。

「子育て、多世代交流」

《若い世代が子育てしやすい環境づくりと多世代交流》

子育て世代の声に耳を傾け、子どもが健やかに成長できる環境を整備するとともに、多世代が交流することを通じて子育てしやすい環境を整備する必要があります。

そのために以下の施策に取り組みます。

【継続する主な施策】

小中学校における子育て支援策として、学用品や中学校制服購入の公費負担、高校生等への通学費補助を継続するとともに教育支援員や中学校の部活動指導員の継続配置、児童クラブの運営、老朽化した施設のうち、緊急を要する箇所の修繕などを継続するほか、子どもが希望する進路に進めるよう、奨学金貸与や私立学校に通う生徒への奨学補助も実施します。

また、結婚支援を進めるため、結婚祝金制度も継続します。

加えて、「もいちど小中学校」を継続実施するとともに、「すくすく大学」活動を充実させ、多世代間の交流促進を図ります。

さらに、総合型スポーツクラブ「源流のもりクラブ」の運営を支援し、住民の皆様が健康でいきいき暮らせる環境を整備します。

【新たに取り組む施策】

○子育て支援の充実策として新たに以下の施策を開始します。

- ・小中学校の給食費を無償化します。
- ・小中学校の修学旅行の経費に対する助成を半額までに拡充します。
- ・現在中学3年生を対象として開講している公設学習塾の対象を1・2年生までに拡げます。

○とちのみ保育園の保育環境向上のため、転落防止柵を設置します。

○病児保育の松本地域ネットワークに参加し、保護者負担の軽減を図ります。

○中学校で使用されるタブレット端末を全面更新します。

○中学校にLD等通級指導サテライト教室を開設します。

○新たな寄付の仕組みづくりなどにより、ふるさとアスリート基金を活性化します。

○妊産婦や子育て家庭、子どもへの相談支援を一元的に行う「こども家庭センター」を開設します。

「健康で安心な村づくり」

《健康で、安心して暮らせる、元気な村づくり》

住民皆が健康で安心して暮らすため、生活基盤の整備や防災対策、生活弱者への支援や健康を保つための取組を進め、元気な村をつくります。

そのために、以下の施策に取り組みます。

【継続する主な施策】

安全・安心の観点からは、豪雨時の溢水箇所に対する抜本的な対策を進めるとともに、村道味噌川線をはじめとする道路改良や橋の修繕、資材支給事業を継続して実施します。

また、道路や公共施設に支障を及ぼす可能性のある危険木の除去事業を継続します。

健康づくりの観点からは、「木祖村健康福祉計画」に基づいた各種施策を積極的に推進するほか、コロナワクチンをはじめ、高齢者の各種定期予防接種への補助を継続して実施します。

生活弱者にやさしい村づくりの観点からは、木曾地域が連携して進める広域幹線バスに添乗員を継続配置するほか、バス定期券購入補助を制度化します。

【新たに取り組む施策】

- 避難生活の快適性向上や女性に配慮した防災備品の配備を進めます。
- 菅公民館に大型発電機を接続できるよう電気設備の改修を行います。
- 地域防災計画及び国土強靱化推進計画を全面リニューアルします。
- デマンド交通予約システムの導入を進めます。
- 上村地区等の水路の溢水や土砂流出について、県事業による防災対策に係る計画策定を進めます。
- 村道奥峰1号線（ほのぼのハウス前）における溢水防止のための水路改修及び道路改良工事を実施します。
- 向吉田跨線橋の改修工事を実施します。
- 将来の水需要や料金改定の必要性なども加味した水道アセットマネジメント計画を策定します。
- 水道管の漏水対策としてスキー場からこだまの森間の水道管の布設替えを実施します。
- 藪原浄水場の予備水源確保のため、葛沢の頭首工改修工事を実施します。

- 物価高騰対策の一環として令和8年度における水道料基本料金の減免を実施します。
- 国道19号藪原改良に伴う村内の交通環境の変化に備え、交通量調査を行います。
- 新たに高齢者に対する補聴器購入補助制度を創設します。
- 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種に対する補助を増額します。
- 妊婦に対する遠方の分娩に対する宿泊費等補助事業を拡充するほか乳幼児健診に係る交通費補助を開始します。
- 妊婦へのRSウイルスワクチン予防接種費用について全額補助します。
- グループホームの土地造成など施設建設を進めます。

【財政健全化の推進】

- 行財政運営基盤の健全化を推進するため、村債について発行抑制を行い、村債残高の増加を防ぎます。

【その他の施策】

- 再生可能エネルギーの活用を図るべく、小水力発電施設建設のための各種調査や基本設計を進めます。
- 特定外来生物の駆除を促進します。
- 小中学校あり方検討会による議論を住民を巻き込んだ形で発展させます。
- リース契約の活用により、村有施設照明設備のLED化を大幅に促進します。